

# 20180314-15 第16回リーグ会議

## 1日目 まちんど

### ワークショップ：食べる通信が世の中に伝える価値は何か

#### ①（高千穂佐藤、兵庫光岡、旅する手塚、SAGA横尾）

物語を伝えることが価値

見えないものを見える化・具現化することで、物語がブランドになり誇りになる

#### ②（東松島太田、ふくおか梶原、北関東中村、こうふく菅野）

「志」。グラウンドに降りている姿を人に見せることができることが価値

#### ③（長島大陸甲斐、こうふく椎根、たべあきない村上、東北高橋）

社会課題にいかにかにチャレンジできるか

食の分野で、文化・エンタメ要素を正しく伝えることができる

#### ④（たべあきない渡邊、奈良源口、そうま小幡、やまぐち和田）

生産者と消費者をつなげるのはあたりまえ。飲食店など他の人もやっている

伝えることで、消費者のみならず生産者も変えられるようになりたい

リーグとしてやらないといけないのは、より横のつながりを活かしより濃いアウトプットを

#### ⑤（北海道丸山、さいき平川、ひろしま梶谷、京都鈴木、東北山下）

価値はひとつじゃない。編集長によって立場の違い、背景が違う

考えることをはじめるきっかけになる

#### ⑥（奈良福吉、かごんま日高、東北渡辺、ポケマル本間）

「ひとつのこたえはない」が結論。価値を分類することに意味はないが、その人にとって

「食べる通信」の価値は何かなのかが明確なことが大切。

## 事務局からの連絡事項

※詳細は[資料](#)参照

【各編集部にご協力頂きたいこと】

- ・サポート時間は平日10時～16時とすること
- ・各種「締切」の厳守

## 発行頻度議論

#### ⑤（北海道丸山、さいき平川、ひろしま梶谷、京都鈴木、東北山下）

立場によって違うので、結論はでなかった。まだどちらに投票するか悩ましい。

できるなら頻度を下げたいと思う編集部が多いと思うが、リーグは存続させないと。

#### ⑥（奈良福吉、かごんま日高、東北渡辺、ポケマル本間）

多様性は認めつつも、ブランディングとして守る部分は守らないといけない。  
送料の件も、送料込みにしたい人と送料別表示にしたい人がいる。  
合意形成にあたって、投票制にするのが正しいのかが分からない。

#### ④（たべあきない渡邊、奈良源口、そうま小幡、やまぐち和田）

編集部をとりまく状況は変わるので、継続していくにあたって、回数や頻度にこだわらなくてもいいのでは。自由にやれる方が価値も高まるのでは

#### ③（長島大陸甲斐、こうふく椎根、たべあきない村上、東北高橋）

現場の実情にあわせた変更ができることがのぞましい。  
時期によって付録にできるものの品質や量が変わるのでは。

#### ①（高千穂佐藤、兵庫光岡、旅する手塚、SAGA横尾）

編集長であり経営者である立場からすると、本業の事情などもあるので難しい。  
4回の発行が継続できないために退会してしまう人がいることは、残念。  
ルールを緩和し、柔軟にやることで継続できる人が増えるのはよい。

#### ②（東松島太田、ふくおか梶原、北関東中村、こうふく菅野）

参入してくる編集部が減りつつあり、退会者も増えている。続けられる形を。

## 新規創刊プレゼン

「鳥取食べる通信」※[資料](#)参照

### 質疑

（やまぐち和田）食材原価600円だと、食材の量が少ないのでは？

（こうふく椎根）県内ターゲットだと、身近に買えるものとの勝負になり厳しいのでは。  
アドバイス：食材の量は慎重に決めるべき。生産者としてしっかり交渉して仕入れをすること

（ひろしま梶谷）鳥取県内に限るのか？食べる通信は全国から購読できるシステム。  
→（鳥取権藤）断る。webや申込み画面に注釈はつける。要望が多ければ県外も考える。

（兵庫光岡）兵庫も7割は県内の人だが、県内にも文化圏が違う人が混ざっている地域。  
→（鳥取権藤）東部と西部で国が違い、今でも分断はある。積極的にかきませたい。

（兵庫光岡）事業計画に制作費用がはいっていないようだが大丈夫か。  
→（鳥取権藤）編集部メンバーで内製する。

（大槌吉野）実際の制作は誰がやるのか？編集長も権藤さんも本業がお忙しいのでは？  
→（鳥取権藤）働きながら社会を変えていきたいチーム。編集は長友・木下・植田。  
アドバイス：出向してきている権藤さんがいなくなってもまわるようにしてほしい。

（稲花手塚）法人営業で計画にあるお歳暮お中元では県外に送るのか。

→（鳥取権藤）県内を想定していた。要望多ければ県外向けも考える。

（東松島太田）うちも市民向けに作っている。取りたい人は鳥取に住ませたらいい。

（ふくおか梶原）出向が終わり、戻られてから誰が引っ張っていくのか。

→（鳥取権藤）熱量をもった仲間が鳥取には沢山居る。そこは安心してほしい。

## 審査

全会一致で、通過。今回リーグ会議をもって37団体に。（総加盟団体数44）

## 2日目 まちんど

### ワークショップ：収益化に向けてできること

①こうふく椎根・東北阿部・長島甲斐・京都鈴木

・コスト削減

長島の印刷が700部で21万 120サイズで送っているなど伸びしろだらけ  
計画に常温便を組み込むと、年間で見たとときに随分楽になる。

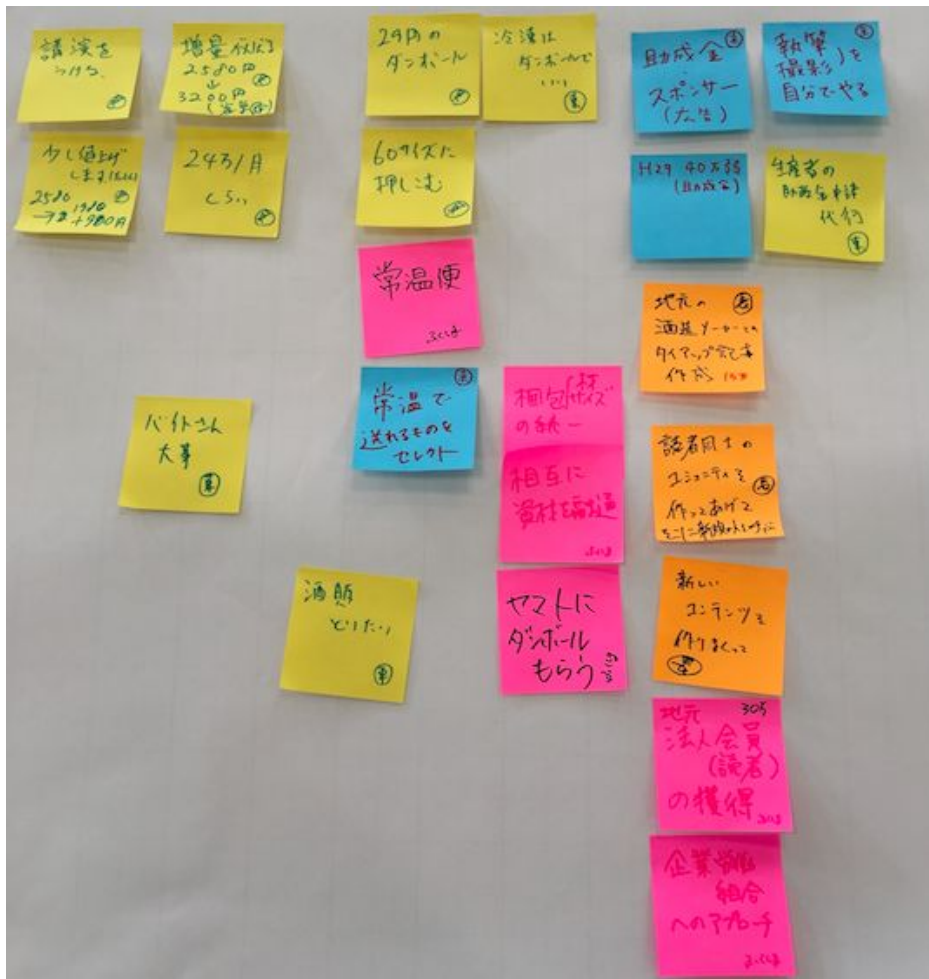
・資金調達

京都：6次化サポーターの助成金申請をした。事業費の3分の1まで助成される。

イベントの生産者交通費や、生産者開拓の交通費などまかなえる

長島：酒造タイアップ記事を15万円で受注。編集能力を現金化

東北：講演を受け付けていることをwebに乗せていれば、営業しなくても依頼が来る。



②（東北山下・鳥取長友・高千穂佐藤・こうふく菅野）

・読者を増やす

こうふく：オフライン50名 おはがきで配送日指定をお知らせしている

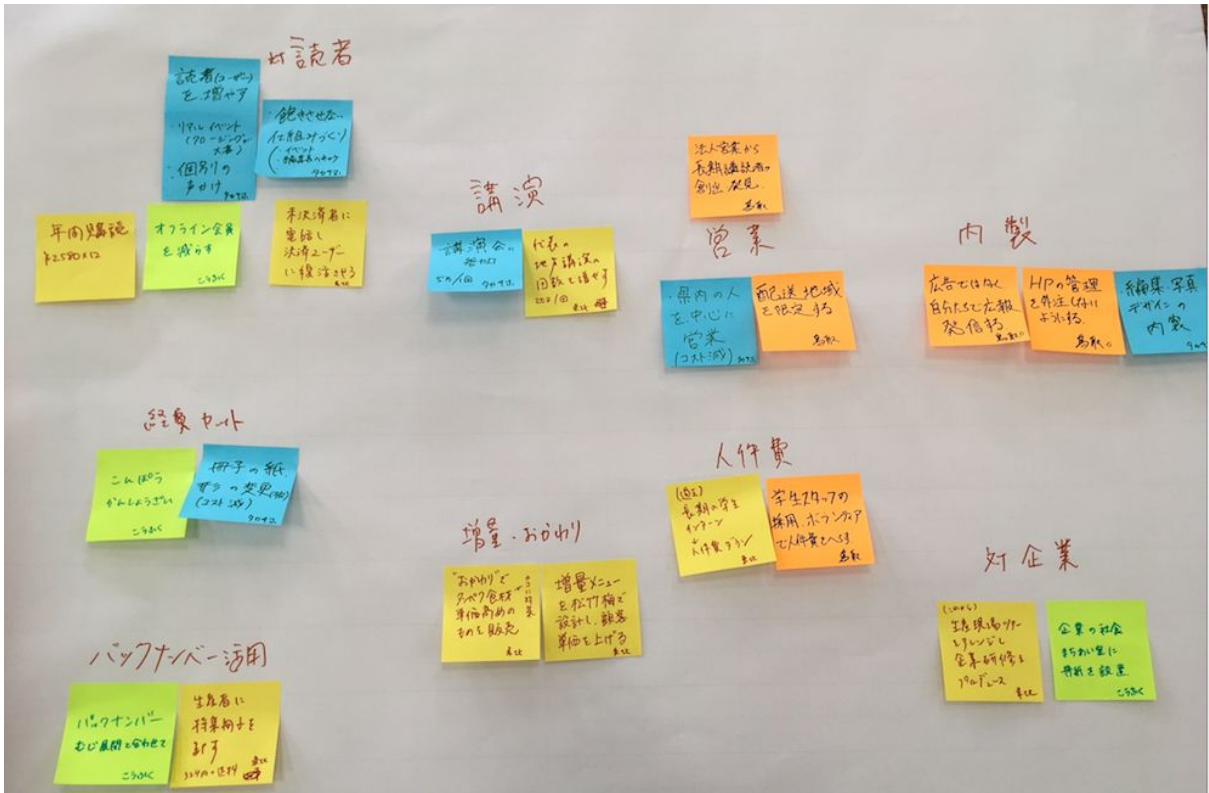
東北：未決済ユーザー140名以上居るので、電話アプローチをはじめた。10~20名復活  
・コストカット

鳥取：配送地域を限定することで配送費カット

広告・HP制作・編集で写真デザインをできる限り内製

東北：増量は、松竹梅設計をして、顧客単価をあげる、おかわりはタンパク質系をいれる  
インターン人材活用による人件費カット

兵庫：企業研修で20名の新入社員研修を2泊3日100万で受注（宿泊込み）粗利は40万ほど  
食べ通きっかけで、研修も申込み頂いた



③ (奈良福吉・ひろしま梶谷・鳥取西村・リーグ江守)

奈良：写真二次利用（生産者がパンフレットに使用したい等）は1万円。カメラマンは自社。コンテンツの二次利用には権利の問題がからむ。「買取」にしておかないともめる。







## <おかわり・増量>

東松島「つまみぐい」2月特集のものを、11月に事前に少し販売。おかわり機能を使うつまみぐいをすることで、特集タイミングでの増量のアップセルを狙う。

## <企業研修の受入れ>

あすびとは企業研修で2000万くらい実績がある。  
コーディネイト会社に搾取されないように注意が必要。  
BtoBに力をいれて、小銭稼ぎにならないようにするべき。

## <タイアップ・企業連携>

市民向けのライティング講座など、行政ともっとうまく連携する余地がある。

## <リーグ運営のあり方>

みんなの意見を聞きながら進めるので意思決定に時間がかかる。  
例えば、編集部から何名があつまったチームで意思決定する方式をとるなど、決め方を変えることでスピードアップできるのでは。

## エキスポ（福吉・梶谷）

前回の編集長会議で、合意形成した上で不参加編集部からもお金を頂くことにした。  
色々なコストを実行委員の持ち出しにならないようにしたいため、手を動かさない編集部にはお金か1万円相当の食材提供にご協力頂きたい。  
クラウドファンディングのリターンや、その他ご協力お願いすることも増えてくると思うので、ご確認とご対応をお願いします。

## 発行頻度

投票数の8割が、「既存ルールの廃止」に投票した。  
投票結果を受け、事務局で最終判断し、「②現行ルールを廃止」することが決定。  
発行頻度の変更を希望する通信は、事務局へ事業計画の再提出をする必要がある。

※詳細は下記投稿内容をご参照ください

<https://www.facebook.com/groups/532049263564112/permalink/1231760933592938/>

## その他

[事例共有資料](#) ※事前に回答頂いていたもの。回答は15通信でした。